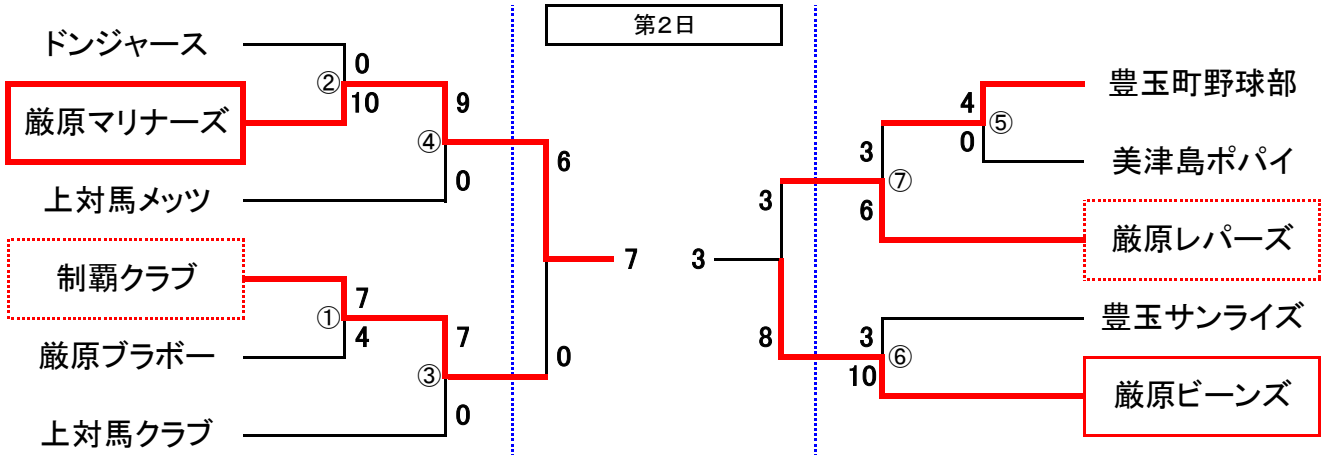


天皇賜杯 第68回全日本軟式野球・対馬予選会

会期	第1日 平成25年3月31日(日)	会場	第1日 美津島野球場
	第2日 平成25年4月21日(日)		第2日 豊玉野球場



①【一回戦】 8:25～ 1時間32分

敵原ブラボー	220 000 0	4
制覇クラブ	200 311 X	7

【三】三槻 2
【二】岡部

前半はブラボーのペース。初回先頭からの連続四死球を犠打で進め戸井の左適時打をもたつく間に二走も還った。二回も四球に岩永、江口が安打の一死満塁に三ゴロ本塁悪送球で二者生還。三回にも二四球に岩永が安打の一死満塁の好機を作ったが捕ゴロ併殺で追加点ならず、四回からは救援日下部に七回二死後に戸井の安打だけだった。

制覇は初回安打の丸島が三進し日下部の三ゴロで還り、四球とバーク後に小西の左適時打で同点に。四回は先頭の三槻が三塁打。死球後の二三塁に高原の2点適時打に岡部の二塁打で逆転。五、六回は三槻の三塁打と小宮の適時打で加点した。

【敵原ブラボー】 打安点球

⑥ 江口 豊隆	3	1	0	1
④ 小宮 博輝	3	0	1	1
② 神宮 保夫	3	0	0	0
⑨ 戸井 寛司	4	2	1	0
③ 勝見 賢次	3	0	0	1
⑦ 中山 貴美男	2	0	0	0
⑤ 多田 直樹	1	0	0	2
⑧ 岩永 勝二	3	2	0	0
① 多田 智樹	1	0	0	0
H9 浅野竜一郎	2	0	0	0
犠1振9残7併0	25	5	2	5

【制覇クラブ】 打安点球

⑥ 小宮 茂樹	4	1	1	0
③ 丸島 敦	4	2	0	0
④ 日下部 智久	3	0	1	1
⑤ 三槻 伸也	3	2	1	1
⑧ 小西 清弘	2	1	1	1
① 杉村 修一	3	0	0	0
⑨ 高原 吉弘	3	1	2	0
② 糸瀬 慎吾	3	0	0	0
⑦ 岡部 洋平	2	1	1	1
犠0振2残6併1	27	8	7	4

【審判】阿比留、松尾、一宮、内山(レパーズ)

②【一回戦】 10:08～ 1時間07分

ドンジャース	000 00	0
敵原マリナーズ	325 0X	10

【本】山代(柵越え)
【三】宮原
【二】原田

鬼橋の安打から敵失に古川の犠飛と白石の適時打で3点先取のマリナーズは二回にも敵失と四球から内野ゴロ悪送球で2点追加すると三回は10人攻撃。山代の2ランに三塁打の宮原は遊ゴロで還り黒岩、坂本の連続タイムリーで一挙5点を奪い10点差を付けた。

前々週に高松宮賜杯2部の決勝戦進出を果たしたドンジャースは相手がB級決勝戦進出しているマリナーズでは少々難敵で老練(46)原田の短長2安打だけで苦敗した。

【審判】勝見ほか敵原ブラボー4名

【ドンジャース】 打安点球

⑥ 長岡 亮	2	0	0	0
⑤ 井村 昭洋	1	0	0	0
H3 武田 浩二	1	0	0	0
⑧ 上松 洋	2	0	0	0
⑨ 阿比留克博	2	0	0	0
③ 原田 武茂	2	2	0	0
⑦ 吉村 貴志	2	0	0	0
① 中庭 俊樹	2	0	0	0
④ 黒岩 洋介	2	0	0	0
② 中嶋 洗祐	1	0	0	0
犠0振5残2併0	17	2	0	0

【敵原マリナーズ】 打安点球

⑧ 武本龍太郎	3	0	1	1
⑥ 鬼橋 佑介	3	1	1	0
④ 黒岩 克成	2	1	1	1
⑦ 坂本 元太	3	1	1	0
⑨ 古川 優樹	1	0	1	1
② 白石 勝太	3	1	1	0
① 岩本 一也	1	0	0	1
H1 小田 卓也	1	0	0	0
③ 山代 毅	3	1	2	0
⑤ 宮原 大輔	2	1	0	0
5 福島 剛士	1	1	0	0
犠1振1残6併0	23	7	8	4

③【二回戦】 11:29～ 1時間13分

制覇クラブ	100 024	7
上対馬クラブ	000 000	0

【二】小宮茂、岡部

2週間前の高松宮賜杯1部予選会を不参加した両チームの対戦は制覇が投打に勝った。二塁打の小宮が三盗し高原の右犠飛で先取した制覇は五回に四球と糸瀬が安打の一死二三塁から遊ゴロと高原の適時打で突き放し、六回には杉村の安打を間に二四球で無死満塁。糸瀬の投内野安打後に岡部の中越え二塁打で一掃し7点差コールドを決定付けた。

上対馬は前年選手権を棄権し3大会で1勝のみ。今大会は9人参加で元気無く初回と四回に安打が出たが二塁を踏んだのはその回だけだった。

【制覇クラブ】 打安点球

⑥ 小宮 茂樹	4	2	1	0
③ 高原 吉弘	3	1	2	0
④ 日下部 智久	4	0	0	0
⑤ 三槻 伸也	4	0	0	0
⑧ 小西 清弘	2	0	0	1
① 杉村 修一	3	1	0	0
⑨ 丸島 敦	1	0	0	2
② 糸瀬 慎吾	3	2	1	0
⑦ 岡部 洋平	3	1	3	0
犠1振3残6併0	27	7	7	3

【上対馬クラブ】 打安点球

⑧ 扇 伸秀	3	1	0	0
④ 洲河 直樹	3	0	0	0
③ 武末 太	3	0	0	0
⑥ 神宮 仁	3	0	0	0
⑨ 武末 修一	1	0	0	1
② 井上 敬司	2	1	0	0
⑤ 板井 俊哉	2	0	0	0
⑦ 小宮 隆紀	2	0	0	0
① 梅野加寿人	2	0	0	0
犠0振6残3併0	21	2	0	1

【審判】武田ほかドンジャース4名

④【二回戦】12:57～ 1時間13分 【本】武本(ランニング)

上対馬メッツ	000 00	0
厳原マリナーズ	222 3X	9

【三】大浦
【二】山代、宮原

メッツは初回大浦の三塁打と死球の一死一三塁の先制機に連続三振で逸した後は好機無くコールド敗戦した。

マリナーズは相手2投手から10死四球を得、タイムリーエラーなども重なって大量9得点した。初回の2点は連続四球の2走者が犠打失と暴投で還り、二回は山代、宮原の連続エンタイトル打と武本の3連打で2点。三回も四死球後に三ゴロ失とバックアップも失して二者生還。代わった中村からも四回先頭の武本が中越えランニング弾に始まり四死球走者が暴投に内野ゴロ失で相次いで還り3点を挙げ都合9点目。

【審判】糸瀬ほか制覇クラブ4名

【上対馬メッツ】打安点球

⑤6 小島 圭祐	2 0 0 0
①8 大浦 祐喜	2 1 0 0
② 梅野 恭平	1 0 0 1
⑧5 小宮 光	2 0 0 0
③ 河本 法満	2 0 0 0
⑥1 中村 朝輝	2 0 0 0
⑦ 板井 将之	2 1 0 0
⑨ 米田 周市	1 0 0 0
H 扇 則昭	1 0 0 0
④ 平間 友則	2 0 0 0
犠0振5残3併0	17 2 0 1

【厳原マリナーズ】打安点球

⑧ 武本龍太郎	2 2 2 1
⑥ 鬼橋 佑介	1 0 0 2
④ 黒岩 克成	1 1 0 1
⑦ 坂本 元太	1 0 0 1
H7 岩本 一也	0 0 0 1
⑨ 古川 優樹	2 0 0 1
② 白石 勝太	2 0 0 1
① 山本 卓	2 0 0 1
③ 山代 毅	2 1 0 0
H5 福島 剛士	0 0 0 1
⑤ 宮原 大輔	2 1 1 0
3 小田 卓也	1 0 0 0
犠1振1残6併0	16 5 3 10

⑤【一回戦】14:22～ 1時間31分(時間切れ)

豊玉町野球部	010 300	4
美津島ポパイ	000 000	0

【二】築城、小島、村瀬

安打数ではポパイが上回ったが散發で三塁を踏んだのは二回に二塁打の村瀬が一死後に一度きりで六回を終えて制限時間を越えた。

豊玉は二回に四球を犠打で進め敵失で先取すると、四回には四球から牽制悪送球に犠打失で追加。鶴元が安打の一三塁に築城の2点二塁打で止めを刺した。

【審判】扇ほか上対馬メッツ4名

【豊玉町野球部】打安点球

④ 築城 貴憲	3 1 2 0
⑥ 中目 剛	3 0 0 0
① 横瀬 弘樹	3 0 0 0
② 村瀬 裕亮	3 0 0 0
⑧ 長郷 健彦	1 0 0 2
⑤ 井村 直樹	1 0 0 0
⑨ 鶴元 将人	3 1 0 0
③ 阿比留慎太郎	3 1 0 0
⑦ 梅野 譲治	2 0 0 0
犠2振5残4併0	22 3 2 2

【美津島ポパイ】打安点球

⑦ 西川 迅	3 1 0 0
⑧ 田口 憲一	3 0 0 0
③5 小島 一輝	3 1 0 0
⑤6 中尾 寿憲	2 1 0 1
① 寺谷 威	3 1 0 0
⑥9 村瀬 恵二	2 1 0 0
9 岩佐佳一郎	0 0 0 1
⑨3 田口 功二	3 0 0 0
④ 嶺 桂太	1 0 0 0
4 黒川憲太郎	1 0 0 0
② 波田 正嗣	2 0 0 0
犠0振5残7併0	23 5 0 2

⑥【二回戦】16:10～ 1時間20分

豊玉サンライズ	000 030	3
厳原ビーンズ	511 201x	10

【二】永留、小田、久和
勝見、手束、西山

四回裏までに9点差を付けられたサンライズは五回に3点を返してこの回のコールドを免れた。四球と永留が二塁打の二三塁から敵失に2個の暴投で3点挙げたが六回に力尽きた。

初回のビーンズは2四球走者を小田の右越え二塁打で還し久和もエンタイトル打。敵失があった後に山口の2点打で幸先の5点。二回も勝見の二塁打に小田のシングルと死球の満塁に西山のタイムリー。三回は代わった石丸から代打手束が二塁打し犠打三進後に勝見の中前打。四回には安打の小田を二塁から西山の二塁打で還し西山は三盗悪送球を誘った。コールド勝ちを決めたのは四球と敵失で三進した小田が西山の3打点目となる中犠飛。

【審判】波田ほか美津島ポパイ4名

【豊玉サンライズ】打安点球

④ 井上 誠一	3 0 0 0
①7 平松 憲人	3 0 0 0
⑥ 津屋 敏彦	2 1 0 1
③13 石丸 誠生	3 0 0 0
⑧ 沢村 望	3 0 0 0
⑤ 梅野 聡志	3 0 0 0
⑦ 阿比留寿也	1 0 0 0
39 築城 公則	0 0 0 1
② 永留 佳祐	2 1 0 0
⑨1 小嶋 忠志	2 0 0 0
犠0振5残3併0	22 2 0 2

【厳原ビーンズ】打安点球

⑦ 松本 拓之	3 0 0 0
H7 梅野 直樹	1 0 0 0
⑤ 勝見 卓也	3 2 1 1
⑧ 豊永 昇平	3 0 0 1
② 小田 剣生	3 3 2 1
③ 久和 隆博	3 1 1 1
⑥ 西山 静	3 2 3 0
⑨ 齊藤 友一	1 0 0 0
9 上野 雄貴	1 0 0 0
H9 泉 賢人	1 0 0 0
④ 山口 大吾	1 1 2 0
H4 手束 幸司	2 1 0 0
① 阿比留祐一	2 0 0 0
犠2振4残7併0	27 10 9 4

⑦【二回戦】17:49～ 1時間22分

厳原レパーズ	000 006 0	6
豊玉町野球部	101 000 1	3

【三】築城
【二】横瀬2、小山
阿比留慎

(試合開始時より点灯)

レパーズは六回がビッグイニングスとなり逆転した。五回までは3四球1失策走者のみだったが、六回先頭の敵失を足場に四球と投前バントが野選で無死満塁。一死後に木屋の左中間2点打で同点。死四球の押し出し点で勝ち越し、豊田の打撃妨害は打点付き。二死後に阿比留の右前2点打。それまで好投の横瀬にとっては連投の魔の12回目だった。

その横瀬は打撃で活躍し全得点を叩き出した。初回二走を左越え二塁打で還す先制打。三回も一死二塁に左越えライナーの二塁打。七回は先頭で三塁打の築城を一死後に遊ゴロで還したが悔しい敗戦投手となった。

豊玉の残塁は8であるが七回の1を除いて毎回の7人を得点圏内に残しており木屋の粘投に屈した。

【厳原レパーズ】打安点球

⑧ 田中 淳也	2 0 0 2
④ 志賀 慶二	3 0 0 0
⑥ 一宮 努	3 0 0 1
① 木屋 勝也	4 1 2 0
⑤ 内山 歩	2 0 0 1
② 松尾 吉範	1 0 1 2
③ 舍利倉政司	2 0 0 0
3 豊田 充	0 0 1 0
⑨ 松島 哲也	3 0 0 0
⑦ 阿比留新吾	2 1 2 1
犠2振5残5併0	22 2 6 7

【豊玉町野球部】打安点球

④2 築城 貴憲	4 3 0 0
⑥ 中目 剛	3 0 0 1
①4 横瀬 弘樹	4 2 3 0
②1 村瀬 裕亮	4 1 0 0
⑧ 長郷 健彦	4 0 0 0
⑤ 井村 直樹	3 0 0 0
③ 阿比留慎太郎	3 1 0 0
⑨ 小山 信之	3 2 0 0
⑦ 梅野 譲治	3 0 0 0
犠1振1残8併0	31 9 3 1

【審判】小嶋ほか豊玉サンライズ4名

【準決勝】09:59～ 1時間39分

巖原マリナーズ	101 130 0	6
制覇クラブ	000 000 0	0

【三】中村
【二】岩本

巖原は初回二死三塁に古川が中前に先制適時打。三回は二死二塁に岩本の中越え二塁打で加点。四回は三塁に対し無死二塁から黒岩の右適時打で3点目。この得点走者は2四球と敵失出塁によるもので好機を確実にモノとした。五回には武本が内野安打で出て三進後に野選と古川の中前、黒岩の右前適時打などで3点を加えた。

制覇の好機は四回。一死後に日下部達の内野安打と連続四球の一死満塁を遊ゴロ本封で逸し、六回と七回にも四球などで得た一三塁走者を還せずに9残塁で封じられた。

【審判】村井、井村(豊)、平松(晋)、長瀬(豊)

【巖原マリナーズ】打安点球

② 武本龍太郎	2	1	0	2
⑥ 鬼橋 佑介	3	0	0	1
⑦ 岩本 一也	4	1	2	0
⑧ 古川 優樹	4	2	2	0
⑤ 立花 壮史	3	0	0	0
④ 黒岩 克成	3	2	2	0
⑨ 小田 卓也	3	0	0	0
① 山本 卓	3	0	0	0
③ 山代 毅	2	0	0	0
H3 中村 裕也	1	1	0	0
犠0振5残4併0	28	7	6	3

【制覇クラブ】打安点球

⑥ 小宮 茂樹	4	1	0	0
④51 日下部智久	4	0	0	0
⑧ 日下部達也	3	1	0	1
⑤15 三槻 伸也	2	0	0	1
③ 小西 清弘	2	0	0	1
①7 杉村 修一	2	0	0	1
⑦4 丸島 敦	3	0	0	0
⑨ 高原 吉弘	3	0	0	0
② 糸瀬 慎吾	1	0	0	1
H 縫田 幸広	0	0	0	1
犠0振3残9併0	24	2	0	6

【準決勝】11:53～ 1時間32分

巖原レパーズ	100 002 0	3
巖原ビーンズ	000 152 X	8

【三】扇、阿比留祐
【二】木屋、柚原

阿比留祐、勝見

初回の1点を追う四回のビーンズは二死後に大坪の内野安打が悪送球で二進。阿比留祐の左前打と後逸で同点とすると五回は猛攻。一死後の死球から松本が安打の一二塁に勝見の中前適時打で二三塁。油原が左中間を抜く2点二塁打。二死後に内野安打と二盗の二者を阿比留祐が中越え三塁打で還し一気に5点差とすると、3点差に迫られた六回は交代の豊田から四球を得、松本が安打の二三塁に勝見が左越えに2点二塁打して突き放した。

レパーズは先頭の扇が中前に。ワンバウンドが跳ねて三塁打。志賀のスライズで先取したが中押し点が奪えず逆転を許した六回二死後に連続四球の二三塁から木屋の右二塁打で反撃したが五回の大量失点が大きかった。

【巖原レパーズ】打安点球

⑦ 扇 裕二	3	1	0	0
④ 志賀 慶二	1	0	1	1
② 松尾 吉範	2	1	0	1
⑧ 木屋 勝也	2	1	2	1
①3 林田 芳和	3	0	0	0
⑤ 内山 歩	3	0	0	0
⑥ 一宮 努	3	0	0	0
③1 豊田 充	3	0	0	0
⑨ 阿比留新吾	2	0	0	0
犠1振1残2併0	22	3	3	3

【巖原ビーンズ】打安点球

⑧ 松本 拓之	4	2	0	0
⑤ 勝見 卓也	4	2	3	0
⑥ 柚原 静	4	1	2	0
② 小田 劍生	4	0	0	0
③ 大坪 宏至	3	3	0	0
① 阿比留祐一	3	2	2	0
⑨ 上野 雄貴	1	0	0	0
H4 手束 幸司	2	0	0	0
④ 山口 大吾	1	0	0	0
7 川崎 貴夫	1	0	0	1
⑦9 山岡 拓朗	1	0	0	2
犠0振4残5併1	28	10	7	3

【審判】築城(豊)、村井、村瀬(豊)、井村(豊)

【決勝】13:50～ 2時間05分

巖原ビーンズ	000 120 0	3
巖原マリナーズ	121 102 X	7

【二】武本2、古川

前試合で10安打7打点のビーンズが散発2安打。得点したのは四回先頭が外飛失(二進)から二死後に外飛失の1点と、五回は先頭安打から連続敵失の無死満塁に四球押し出しと暴投で挙げた2点のみ。

対するマリナーズは11安打と良く打ち7四球も得たが、7失策と守備の乱れが目立った。初回二塁打(三盗)の武本を黒岩の安打で先制し、二回は二死から3連続四球後に鬼橋の2点適時打。三回は敵失から小田と立花の連打で加点すると四回は二死二三塁に暴投で5点目を挙げた。2点差に迫られた六回、先頭武本の二塁打に2四球の満塁で原田の左犠飛に小田の左適時打でダメ押しし再び4点差とした。2週間後の高松宮賜杯1部決勝戦でもこの対戦はある。

【巖原ビーンズ】打安点球

⑧ 松本 拓之	4	1	0	0
⑤ 勝見 卓也	3	1	0	1
② 小田 劍生	4	0	0	0
⑦ 作元 功照	4	0	0	0
④ 久和 隆博	1	0	1	2
H 川崎 貴夫	1	0	0	0
⑥ 柚原 静	3	0	0	0
H 山岡 拓朗	0	0	0	1
⑨ 手束 幸司	2	0	0	1
H 山口 大吾	1	0	0	0
③ 大坪 宏至	3	0	0	0
① 阿比留祐一	3	0	0	0
犠0振4残5併1	29	2	1	5

【巖原マリナーズ】打安点球

② 武本龍太郎	3	2	0	1
⑥ 鬼橋 佑介	3	1	2	1
④ 黒岩 克成	3	2	1	1
⑧ 古川 優樹	2	1	0	2
⑤ 原田 啓史	3	0	1	0
⑦1 小田 拓也	4	3	1	0
⑨ 立花 壮史	3	1	1	0
H9 中村 裕也	1	0	0	0
①7 岩本 一也	2	0	0	1
③ 山代 毅	2	0	0	1
3 土生 英樹	0	0	0	0
犠0振4残5併1	26	11	6	7

【審判】糸瀬(制覇)、永留(晋)、築城(豊)、長瀬(豊)

天皇賜杯長崎県大会は5月11日～13日に佐世保市で開催されるが今季は県下15支部代表に加えて県登録A級の4チームが各支部予選会を経ずに参加。これは来年秋に佐世保市と平戸市の5会場で開催される『長崎がんばらんば国体』に備え、チーム力強化の措置である。

A級登録は親和銀行、愛健医院(佐世保)、三菱重工長崎、南原クラブ(大村)で15支部代表を加えた、19チームが島根県で開催(9月)される全日本大会出場を賭けて戦う。

巖原マリナーズは2年ぶり10回目の出場。3大会で1勝ずつを挙げているが2勝して準決勝進出はまだ無い。今回2勝して準決勝進出をすれば『県軟式野球界の雄・親和銀行』との対戦があるかも？。過去同大会での対戦は、16年(0-6)、19年(0-10)と、県選手権で、16年(2-3)、24年(1-8)と四度あるが、今回初の2勝を挙げて準決勝進出が目標。

対馬代表の天皇賜杯県大会での最上位は平成2年の『美津島マーシャルズ』の準優勝。3勝した決勝戦で親和銀行に0-7敗退。他には2勝を挙げたチームはいないが、平成10年に対馬開催の県大会では4



チームが特別枠で参加し、全てが1勝を挙げて勝ち上がったことがある。

天皇賜杯対馬予選会の決勝戦戦績と、県大会(平成5年~19年の間は2チーム参加)での戦績

昭和61年より対馬予選会(6町代表対抗戦)が始まる		県大会での戦績	
61年	上対馬クラブ 9-1 厳原海王	棄権 電通ユニオンズ(老岐)	
62年	豊玉クラブ 5-3 美津島ポパイ	1-4 海自造修所(佐世保)	
63年	厳原ワイズ 5-2 上対馬クラブ	0-9 親和銀行(佐世保)	
元年	〃 2-1 佐護リバーズ	1-0 菊池病院(松浦) 降雨順延を棄権 対:県経済連(長崎)	
2年	美津島マーシャルズ 3-0 厳原ワイズ	3-0 福江球友会 2-1 佐世保市水道局	
		4-2 小浜クラブ(南高) 【決】 7-0 親和銀行	
3年	厳原ワイズ 7-3 美津島ポパイ	7-3 中村クラブ(大村) 2-6 県共済連(長崎)	
4年	豊玉町野球部 2-0 〃	1-0 JA福江 7-3 奈良尾ヶ(上五島) 【準】 0-6 轟ヶ(北高)	
平成5年より6町8チームの予選会とし、県大会に2チーム(県連登録20チーム以上により)参加となる			
5年	上対馬ライオンズ 9-4 峰ファイターズ 県: 2-6 JA長崎共済連(長崎)	美津島ポパイ 2-0 上県佐護リバーズ 県: 0-5 佐世保市役所	
6年	厳原ワイズ 6-1 上対馬メッツ 県: 4-6 佐世保クラブ	美津島マーシャルズ 3-0 厳原レパーズ 県: 3-4 生月体協(県北)	
7年	厳原ワイズ 4-0 厳原シーガルス 県: 1-3 佐世保クラブ	豊玉町野球部 4-0 峰ファイターズ 県: 0-2 国見野球クラブ(南高)	
8年	豊玉町野球部 1-0 上対馬クラブ 上対馬クラブが代理出場 5-6 舛田グループ(上五島)	上対馬メッツ 2-1 大洋真珠クラブ ★上対馬大会直前に集団食中毒で県大会を棄権	
9年	厳原レパーズ 7-1 上県佐護リバーズ 県: 6-2 西海棒球队(西彼) 2-4 ソニー長崎(諫早)	峰ファイターズ 4-2 豊玉サンライズ 県: 0-4 ヨシスポーツ(諫早)	
10年	県大会が対馬開催で開催地特別により、4チームが参加	上対馬クラブ 9-3 アリアケジャパン(県北) 6-2 島原市役所第三野球部 1-5 アイケン医院	
		厳原マリナーズ 9-2 国見野球クラブ(南高) 0-5 三菱重工長崎	
		美津島ポパイ 6-4 石田ジャガーズ 2-3 西部ガス(長崎)	
		豊玉町野球部 3-1 平戸クラブ 1-10 佐世保クラブ	
11年	豊玉町野球部 5-2 厳原マリナーズ 県: 1-0 千々石町体協(南高) 2-4 舛田グループ(上五島)	美津島マーシャルズ 3-2 大洋真珠クラブ 県: 0-2 諫早信用金庫	
12年	上対馬クラブ 7-0 上対馬メッツ 県: 0-7 西海棒球队(西彼)	峰ファイターズ 3-1 豊玉町野球部 県: 2-11 福江球友会	
13年	厳原マリナーズ 3-2 上対馬メッツ 県: 2-0 国見クラブ(南高) 0-12 アイケン医院(佐世保)	厳原レパーズ 1-0 豊玉町野球部 美津島ホークスが代理出場 0-13 大村市役所	
14年	厳原マリナーズ 2-1 美津島マーシャルズ 県: 0-7 アイケン医院(佐世保)	美津島クラブ 4-2 厳原ファイターズ 県: 0-4 全田平(県北)	
15年	厳原レパーズ 5-0 厳原ファイターズ 県: 0-4 三菱重工長崎	上県アスレチックス 3-2 上対馬メッツ 県: (雨天順延棄権)福江ドリームスター	
16年	上対馬メッツ 1-0 厳原マリナーズ 県: 0-6 親和銀行	厳原ブラックタイガース 2-0 厳原レパーズ 県: 1-6 たちばな信用金庫(諫早)	
17年	厳原マリナーズ 6-5 厳原NYビーンズ 厳原ビーンズが代理出場 2-8 三菱重工長崎	厳原ファイターズ 1-0 制覇クラブ 県: 5-4 上五島クラブ 0-8 ソニー九州(諫早)	
18年	厳原マリナーズ 9-0 制覇クラブ 県: 11-3 有明町クラブ(島原) 0-2 ソニー九州(諫早)	上対馬クラブ 2-1 厳原NYビーンズ 県: 1-3 西有家クラブ(県南)	
平成19年は全登録16チーム参加で2ブロックの予選会を行ない、県大会に2チームが参加となる			
19年	厳原マリナーズ 9-2 厳原ファイターズ 県: 0-10 親和銀行	上対馬メッツ 4-2 美津島マーシャルズ 県: 3-4 平戸クラブ	
平成20年より、県大会には1チーム参加となる		県大会での戦績	
20年	厳原マリナーズ 3-1 上対馬クラブ	1-2 島原市役所	
21年	〃 8-5 豊玉サンライズ	6-8 アイケン医院(佐世保)	
22年	〃 7-3 豊玉町野球部	1-6 三菱重工長崎	
23年	〃 7-0 豊玉サンライズ	2-3 舛田グループ(上五島)	
24年	制覇クラブ 4-2 厳原ビーンズ	10-7 上五島ク 二回戦(愛健医院・佐世保)は雨天順延で棄権	
25年	厳原マリナーズ 7-3 厳原ビーンズ		